

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ガボン共和国月報(2024年11月)

2024年11月号
在ガボン日本国大使館

1. 内政・外交

- 16日、新憲法草案の採択のための国民投票が行われ、全国2800カ所の投票所で投票が行われた。特段の暴力行為や混乱もなく、平和裡に、透明性をもって秩序正しく実施された。17日夜、エルマン・イモンゴ内務大臣より賛成91.80%、反対8.20%で、賛成が多数を占めた旨発表された。投票率は53.54%だった。その後、憲法裁判所によって、賛成91.64%、反対8.36%、投票率54.18%という結果に修正された(16日付UN、12月4日付ガボン官報)。
- 18日、ファキAU委員長は、新憲法に関する国民投票の実施について、暫定政府とガボン国民に対して祝意を表する声明を発表し、今回の投票は「民主的な憲法秩序の回復に向けた重要な一歩」であると評価した(19日付GR)。
- 25日、オリギンゲマ暫定大統領はベルギー・ブリュッセルを訪問。欧州理事会や欧州委員会とのワーキングセッションに参加した。ガボンの民政移管プロセスと新憲法に関する国民投票の実施を背景に、EUはガボン情勢に注目する姿勢を示した(26日付GR)。
- 28日、オリギンゲマ暫定大統領はエジプト・カイロを訪問。30日、シーシ大統領と首脳会談を行い、戦略的分野における二国間協力の強化を確認した(30日付GA)。

2. 経済

- 26日、オリギンゲマ暫定大統領は、EU本部にてシャルル・ミシェル欧州理事会議長及びユッタ・ウルピライネン国際パートナーシップ担当欧州委員と会談し、トランス・ガボン鉄道の再整備に対し、EUから約196億5000万FCFA(3000万ユーロ)の無償資金協力を実施することが決定した(26日付GMT)。

出典:ガボン官報、ユニオン(UN)、ガボン・レビュー(GR)、ガボン・アクチュ(GA)、ガボン・メディア・タイム(GMT)

(了)